

目次



伊豆の国市 防災マップ

CONTENTS

自助・共助・公助	1
防災マップの使用方法	2

地震

地震から身を守る

地震発生時のタイムライン	3-4
避難時の注意点	3-4

地震に備える

日ごろからの地震対策	5
------------	---

地震を知る

震度分布図	6
液状化可能性分布図	7
地域の危険度マップ	8

防災情報・防災知識

防災情報の流れ	43
防災情報の入手方法	43
災害用伝言サービス	44
避難生活心得	44

洪水・土砂災害

洪水・土砂災害から身を守る

洪水・土砂災害発生時のタイムライン	9-10
避難時の注意点	9-10

洪水・土砂災害を知る

土砂災害の種類	11
洪水・土砂災害ハザードマップ	12-42

避難所・関係施設等一覧

広域避難所／広域避難地	45
地区避難所	45-46
関連施設	46
非常用持出品／備蓄品	47

自助

連携

共助

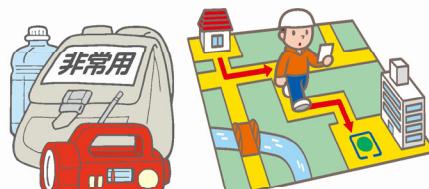
公助

▶ 自助・共助・公助

災害による被害を未然に防いだり、最小限に抑えるとともに、早期の復旧・復興を果たすことができる、強いまちづくりのためには自助・共助・公助の連携が大切です。

■自分で守る自助

日ごろから災害に備えたり、災害時には早期に避難するなど、**自分の命は自分で守る**ということです。この防災マップでも紹介している**非常用持出品**の準備や生活必需品の備蓄、家や周囲の防災対策や連絡手段・避難所の確認、情報収集など、事前の備えとしていろいろなことができます。



■地域で守る共助

地域の**防災活動**に協力したり、地域の方々と**要配慮者**の避難を支援したり、初期消火活動や救出活動を行うなど、周りの人たちと助け合うことです。大災害発生直後は、救助隊はあまり期待できず、むしろ**友人・隣人で助け合うこと**が重要になります。



■行政機関が守る公助

災害に備えた**防災設備**や**インフラの整備**をはじめ、啓蒙活動や自警消防隊・自主防災組織など**自主防災活動の支援**、災害発生時の**消防・救急活動**など、市全域にかかる災害予防や災害対策に関する**県や防災関係機関と連携**して行うものです。



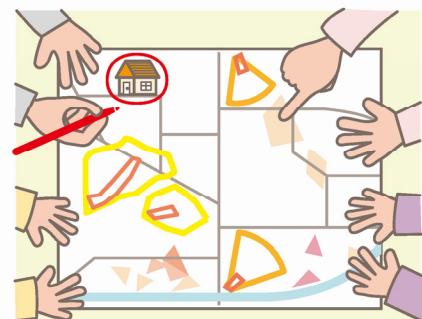
▶ 防災マップの使用方法

災害が発生した時、あなたや家族がどのように行動すればいいのかを考え、本ページとハザードマップに直接書き込んで**あなたの家の防災マップ**を完成させてください。なお地震、洪水、土砂災害では、利用できる避難所や避難経路が異なる場合があります。災害の形態に合わせて事前に選択しておきましょう。

完成させよう 「あなたの家の防災マップ」

ステップ

1 自宅周辺の地震、洪水、土砂災害の危険性を確認する



マップページへ自宅の位置に印をつけましょう（マップP.12～42）
地 洪 土

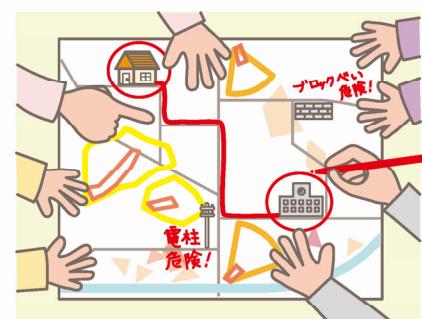
地震が発生したら、自宅付近の震度は **○** です（P.6）
地 洪 土

洪水が発生したら、自宅付近の浸水深は **～** です
地 洪 土

自宅のまわりに、地震が発生した時に倒壊しそうなブロック塀などや、土砂災害の危険がある場所は（**ある・ない**）
地 洪 土

ステップ

2 自宅からの最適な避難所、避難経路を確認する



それぞれの災害が起こった場合の避難所 避難所までの距離※1 その他の避難経路の候補

地 約 **m (ある・ない)**

洪 約 **m (ある・ない)**

土 約 **m (ある・ない)**

※1 この防災マップの1cmが、実際の距離の100mになります

ステップ

3 選択した避難経路の安全を実際に確認する

夜間でも避難できるような街灯などの明かりは

（**ある・ない**）

地 洪 土

ブロック塀や看板など倒壊や落下などの危険があるものは（**ある・ない**）

地 洪 土

避難経路上に浸水が予想される場所は

（**ある・ない**）

地 洪 土

マンホール、道路端の側溝、深くくぼんだ場所など、避難時に注意すべき場所は（**ある・ない**）

地 洪 土

浸水しても確認できるような看板や信号などの目印が（**ある・ない**）

地 洪 土

土砂災害が起きそうな場所は（**ある・ない**）

地 洪 土

